



市政記者クラブ加盟社 各位

感染性胃腸炎の集団発生について

次の施設において、「感染性胃腸炎」の集団発生事例がありましたのでお知らせします。

1 施設等

盛岡市内の保育園（園児：222名、職員：53名）

2 患者の状況等

- 11月12日（金）に、園から、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の報告
- 同日から保健所が調査を実施し、10月23日（土）から11月19日（金）までに34名（園児31名、職員3名）に症状（嘔吐、下痢等）があったことを確認
- 入院者及び重症者はなく、有症者は回復または回復傾向
【発症の状況】 有症者34名（性別・年齢別内訳）

区分	園児						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20代	40代	
男	11	2	4	0	1	0	0	0	18
女	8	0	2	1	1	1	2	1	16
計	19	2	6	1	2	1	2	1	34

3 保健所による原因究明の調査等

- 11月18日（木）に有症者9名（園児6名、職員3名）に実施した糞便検査の結果、6名（園児4名、職員2名）からノロウイルスを検出。
- 感染経路等を調査したところ、排泄物処理過程及び環境面の消毒に一部不十分な点があったと推測されたことから、施設に対し、手洗い及び消毒の徹底等の二次感染予防について指導。
- 給食を原因とする食中毒の可能性は低いと判断。

4 保健所からのお願い

感染性胃腸炎は、例年、秋から冬にかけて流行します。
社会福祉施設はもちろん、各家庭においても、以下の点に注意してください。

- ・消毒は、塩素系漂白剤を使用しましょう。
- ・使い捨て手袋は一動作ごとに交換しましょう。
- ・排泄物等の処理後は、速やかに手を洗いましょう。

1 ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、嘔気・嘔吐と下痢を主症状とする急性胃腸炎の原因のウイルスのひとつです。ノロウイルスによる急性胃腸炎は年間を通してみられますが、特に10月から4月頃までの秋口から春までに流行する傾向があります。ウイルスが体に取り込まれてから半日から2日の潜伏期間を経て、嘔吐が始まります。その後、水様性下痢が出現し、2日ほどの経過で回復に向かいます。本人の自覚症状がなくなっても2～3週間程度は便中にウイルスが排出されるといわれています。

2 予防方法

- トイレやオムツ交換の後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- 下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業を自粛する。
- 加熱調理をする場合、85～90度・1分半以上十分に加熱する。
- 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤等で消毒する。
- 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関に相談する。

【参考】 感染性胃腸炎の集団発生状況

区 分	盛 岡 市				岩 手 県 (盛岡市含む。)			
	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポ ウイルス等)	計	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポ ウイルス等)	計
令和3年4月 ～現在	1	0	0	1	17	0	1	18
昨年同期 (令和2年度)	1	0	3	4	4	0	3	7

【担当：保健予防課長 吉田 金一 電話：019-603-8244】